

2018年度 靴プロジェクト報告書
関西学院大学 総合政策学部

Bridge for Children, KGU
2019年1月28日

2019年1月28日
2018年度 靴プロジェクト報告書
Bridge for Children, KGU
3年 黒崎 琴鼓

靴プロジェクトのご報告

拝啓

立春の候、皆様方に於かれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より私共 Bridge for Children, KGU の活動にご理解・ご協力賜り、誠に有難うございます。

さて、表題の件に関しまして、下記の通り本プロジェクトが無事に終了しましたことをご報告させていただきます。2018年度靴プロジェクトにご協力いただきましたことに、心から御礼申し上げます。お忙しいことと存じますが、ご一読いただけますと幸いです。

敬具



記

1. 概要

① プロジェクト名	Give a Shoe Project
② 実施期間	2018年4月～2019年1月
③ 背景	フィリピンの貧困地域で生活する子どもたちの多くは、街やゴミ山などを裸足で歩く生活している。そのため、足の小さな傷から感染症にかかり命を落としてしまう子どもたちが多く存在する。子どもたちと交流したBFCメンバーが、一人でも多くの子どもたちの笑顔を守りたいと思い、本プロジェクトを立ち上げた。
④ 目的	フィリピンの貧困地域で靴を履いていないがために命を落とす危険があるという点に焦点を当て、そのような事態を回避する為
⑤ 対象地域	① Brgy.105, “Happy Land” Tondo, Manila ② Brgy. Canculajao, Catanauan ③ San Francisco Aurora ④ Brgy. Calantas
⑥ プロジェクト実施対象	⑤の地域周辺に暮らす子どもたち
⑦ 現地責任者	Ms. Myla Akiko Gimenez
⑧ 国内担当者	Bridge for Children, KGU 馬場ひかり
⑨ プロジェクトパートナー	① Save the Children ② Department of Social Welfare and Development ③ Perpetual Help ④ Department of Education
⑩ 協力団体（敬称略）	学校法人関西学院幼稚園 仁川学院 マリアの園幼稚園 関西学院大学神戸三田キャンパス アカデミックcommons事務局
⑪ 受け渡した靴の総数	513 足
⑫ 回収開始時期	2018年6月
⑬ 発送日	2018年10月4日
⑭ 発送費用	53,505 円
⑮ 受け渡しセレモニー実施日	2018年12月9日・28日 2019年1月2日・25日

2. プロジェクトを終えて

4月から活動して参りました2018年度の本プロジェクトも無事セレモニーを終え、約513人の子どもたちに靴を届けることが出来ました。目標数の靴の回収や、現地の子どもたちに無事に届くか、など様々な不安を抱えておりました。しかし、〇〇園の皆様のあたたかなご支援をいただき無事にフィリピンの子どもたちへ、皆様の想いと共に靴を届けることができましたことを大変嬉しく思っております。皆様のご協力、心より感謝申し上げます。誠に有難うございました。

なお、プロジェクト開始当初から共に活動を行ってきた現地コーディネーターである Myla Akiko Gimenez さんが仕事上の理由により、今年度で最後となりました。それに伴い、本プロジェクトも終了させていただくこととなりました。当プロジェクトは、皆様の多くのご協力により継続することができておりました。改めて感謝申し上げます。

今後の靴プロジェクトの実施は未定ではありますが、私共、Bridge for Children, KGU は、今後も「For the Children's Smile」を理念に掲げ、国内外問わず子どもたちの笑顔のために私たちが今できることを探しつつ、全力で実行して参ります。私共に出来ることは微々たるものかもしれませんが、しかしながら、一つ一つの活動が、より多くの子どもたちの笑顔につながっていると信じております。

今後ともご理解・ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

Bridge for Children, KGU 一同





現地でのセレモニーの様子